

平成26年度概算要求における 宇宙開発利用関係予算について (省庁別集計)

平 成 2 5 年 9 月
内 閣 府 宇 宙 戦 略 室

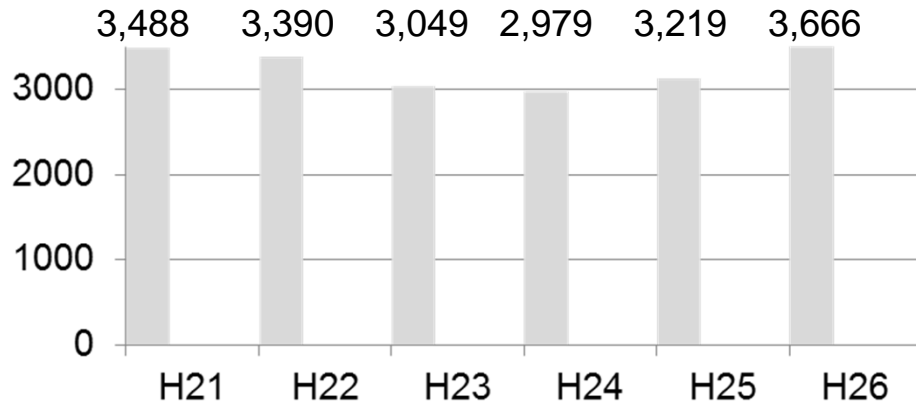
1. 平成26年度概算要求における宇宙関係予算

[全府省]

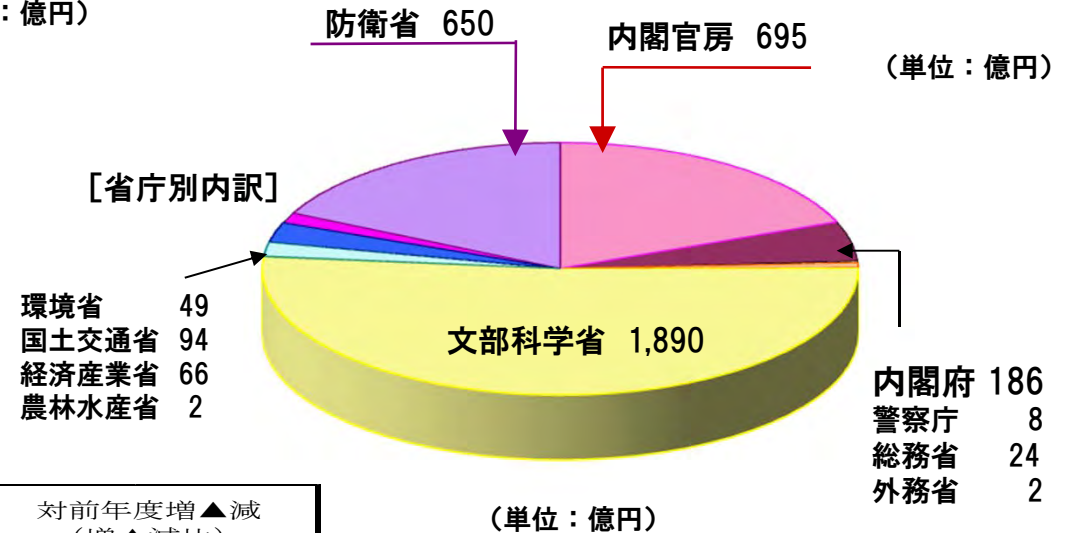
平成26年度概算要求総額 **3,666億円** (対前年度当初予算比 446億円増 (13.9%増))
 (要求額 2,774億円 優先課題推進枠 892億円)

[宇宙関係予算の推移 (当初予算ベース)]

(単位：億円)



[省庁別内訳]



[内訳]

府省名	平成25年度 当初予算額 (①)	平成26年度		対前年度増▲減 (増▲減比) ④-①
		概算要求額 (②)	優先課題推進枠 (③)	
内閣官房	609	546	149	695 (+86 (+14.2%))
内閣府	110	93	93	186 (+76 (+69.5%))
警察庁	8	8	0	8 ▲0.5 (▲6.6%)
総務省	22	21	3	24 +2 (+11.5%)
外務省	2	2	0	2 ▲0.1 (▲6.6%)
文部科学省	1,643	1,323	567	1,890 +247 (+15.1%)
農林水産省	2	2	0	2 ▲0.1 (▲4.0%)
経済産業省	31	32	33	66 +35 (+112.4%)
国土交通省	94	92	2	94 +0.4 (+0.5%)
環境省	23	9	40	49 +26 (+109.6%)
防衛省	677	646	4	650 ▲26 (▲3.8%)
合計	3,219	2,774	892	3,666 +446 (+13.9%)

(係数については、四捨五入に よっているのので計と符合しないことがある。)

平成26年度概算要求（宇宙関係予算）【各府省の主な施策】

全府省庁合計 3,666億円

【内閣官房】	69,470	(+8,618)
● 情報収集衛星関係経費	69,460	(+8,618)
【内閣府】	18,613	(+7,633)
● 衛星系通信ネットワークの整備	394	(+307)
● 準天頂衛星システムの開発・整備・運用	9,821	(▲734)
● 広域災害監視衛星ネットワークの開発・整備・運用	8,000	(新規)
【警察庁】	764	(▲54)
○ 高解像度衛星画像解析システムの運用・通信衛星使用料等	764	(▲54)
【総務省】	2,414	(+248)
○ 準天頂衛星時刻管理系設備の運用	75	(▲4)
○ 宇宙通信システム技術に関する研究開発	2,015	(▲48)
● 海洋資源調査のための次世代衛星通信技術に関する研究開発	300	(新規)
【外務省】	176	(▲12)
○ 衛星画像判読分析支援	161	(▲12)
○ 宇宙外交推進費	15	(+0)
【文部科学省】	189,028	(+24,743)
● 新型基幹ロケット	7,000	(新規)
● 基幹ロケット高度化	4,696	(+4,079)
● 広域・高分解能観測技術衛星の開発	1,893	(新規)
● 超低高度衛星技術試験機(SLATS)	1,090	(新規)
● 赤外センサの研究開発	150	(新規)
● デブリ除去システム技術実証	800	(新規)
● 陸域観測技術衛星2号(ALOS-2)	3,075	(▲1,289)
● 温室効果ガス観測技術衛星後継機(GOSAT-2)	1,967	(+1,773)
● 気候変動観測衛星(GCOM-C)	6,760	(+4,417)
● 小惑星探査機「はやぶさ2」の開発	12,564	(+2,305)
● 日本実験棟「きぼう」の運用・科学研究等	12,982	(▲644)
○ 宇宙ステーション補給機「こうのとり」(HTV)	23,997	(▲387)
● 宇宙太陽光発電技術の研究	500	(+200)

【農林水産省】	156	(▲7)
○ 農林水産施策におけるリモートセンシング技術の活用	26	(±0)
○ 農林水産施策における衛星測位技術の活用	130	(▲7)
【経済産業省】	6,562	(+3,473)
● 超高分解能合成開口レーダの小型化技術の研究開発	3,320	(+3,320)
○ ハイパースペクトルセンサ等の研究開発	1,602	(+72)
○ 石油資源遠隔探知技術の研究開発	621	(▲119)
○ 宇宙産業技術情報基盤整備研究開発(SERVISプロジェクト)	180	(+53)
○ 太陽光発電無線送受電高効率化の研究開発	250	(新規)
【国土交通省】	9,442	(+44)
● 静止気象衛星業務等	8,391	(+62)
○ 人工衛星の測量分野への利活用	908	(▲8)
○ マルチGNSSによる高精度測位技術の開発	114	(▲6)
【環境省】	4,908	(+2,566)
● いぶき観測体制強化及びいぶき後継機開発体制整備等	3,752	(+2,328)
● 衛星による地球環境観測経費	999	(+226)
【防衛省】	65,047	(▲2,605)
● 衛星通信、商用画像衛星の利用等	27,505	(▲2,708)
○ 宇宙を利用したC4ISRの機能強化のための調査・研究	384	(▲736)
○ 弾道ミサイル防衛(BMD)(宇宙関連)	37,149	(+832)

各府省庁予算の単位は百万円。()内は対前年度当初予算比+増▲減。
●は優先課題推進枠を含む事業。四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。

平成26年度概算要求（優先課題推進枠）（宇宙関係予算）【各府省の主な施策】

全府省庁合計（優先課題推進枠） 892億円

【内閣官房】	14,916	【経済産業省】	3,320
● 情報収集衛星関係経費の一部	14,916	● 超高分解能合成開口レーダの小型化技術の研究開発	3,320
【内閣府】	9,265	【国土交通省】	232
● 衛星系通信ネットワークの整備の一部	265	● 静止気象衛星業務等の一部	232
● 準天頂衛星システムの開発・整備・運用の一部	1,000	【環境省】	3,988
● 広域災害監視衛星ネットワークの開発・整備・運用	8,000	● いぶき観測体制強化及びいぶき後継機開発体制整備等の一部	3,643
【総務省】	300	● 衛星による地球環境観測経費の一部	345
● 海洋資源調査のための次世代衛星通信技術に関する研究開発	300	【防衛省】	440
【文部科学省】	56,729	● 衛星通信、商用画像衛星の利用等の一部	440
● 新型基幹ロケットの一部	6,000		
● 基幹ロケット高度化の一部	4,523		
● 広域・高分解能観測技術衛星の開発	1,893		
● 超低高度衛星技術試験機(SLATS)	1,090		
● 赤外センサの研究開発の一部	100		
● デブリ除去システム技術実証	800		
● 陸域観測技術衛星2号(ALOS-2)の一部	2,704		
● 温室効果ガス観測技術衛星後継機(GOSAT-2)の一部	1,827		
● 気候変動観測衛星(GCOM-C)の一部	5,558		
● 雲エアロゾル放射ミッション/雲プロファイニングレーダ(EarthCARE/CPR)	745		
● 小惑星探査機「はやぶさ2」の開発	12,564		
● 日本実験棟「きぼう」の運用・科学研究等の一部	3,807		
● 宇宙太陽光発電技術の研究	500		

各府省庁予算の単位は百万円。
四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。

2. 宇宙開発利用関係予算

(単位:百万円)

府省名	施策名	25年度 当初予算 (①)	平成26年度		対前年度		施策の説明	備考
			要求額 (②)	優先課題推進枠 (③)	概算要求総額 (④=②+③)	増▲減額 (⑤=④-①)		
	宇宙関係経費	321,932	277,391	89,189	366,580	44,648	(13.9%)	
	内閣官房	60,853	54,555	14,916	69,470	8,618	(14.2%)	
	情報収集衛星関係経費	60,842	54,544	14,916	69,460	8,618	(14.2%)	情報収集衛星の開発・運用
	宇宙開発戦略本部事務費	11	11	0	11	▲ 0	(▲ 2.7%)	宇宙開発戦略本部事務局の運営に必要な経費
	内閣府	10,980	9,347	9,265	18,613	7,633	(69.5%)	
	衛星通信回線の利用料	141	141	0	141	0	(0.0%)	災害発生時の官邸と現地対策本部等との通信手段としての通信衛星利用料
	衛星系通信ネットワークの整備	87	129	265	394	307	(354.6%)	衛星系通信ネットワークの整備
	準天頂衛星システムの開発・整備・運用	10,555	8,821	1,000	9,821	▲ 734	(▲ 7.0%)	
	実用準天頂衛星運用経費	0	287	0	287	287	-	衛星の運用に必要な事務費
	実用準天頂衛星開発・整備経費	0	8,534	0	8,534	8,534	-	実用準天頂衛星3機分の開発費
	実用準天頂衛星打上げ経費	0	0	1,000	1,000	1,000	-	
	広域災害監視衛星ネットワークの開発・整備・運用	0	0	8,000	8,000	8,000	-	海洋監視等の安全保障能力及び防災・災害対策の強化に資するため、複数機のリモートセンシング衛星を一体的に開発・整備・運用する。
	宇宙開発利用の推進	197	256	0	256	59	(30.2%)	宇宙開発利用に関する施策の推進に必要な一般事務費
	衛星データ利用促進プラットフォーム整備・運用	45	0	0	0	▲ 45	(▲ 100.0%)	衛星データ利用促進プラットフォームを運用及び衛星データの処理機能等の機能を付加
	宇宙利用拡大の調査研究	51	126	0	126	74	-	宇宙利用拡大を図るための施策の策定を行うため、諸外国の宇宙政策動向等の調査・分析を行う
	宇宙開発利用政策事務費	100	130	0	130	30	(29.8%)	宇宙戦略室の運営に必要な経費

(単位:百万円)

府省名	施策名	25年度 当初予算 (①)	平成26年度		対前年度		施策の説明	備考
			要求額 (②)	優先課題推進枠 (③)	概算要求総額 (④=②+③)	増▲減額 (⑤=④-①)		
警察庁		818	764	0	764	▲ 54	(▲ 6.6%)	
	高解像度衛星画像解析システムの運用・通信衛星使用料等	818	764	0	764	▲ 54	(▲ 6.6%)	
	高解像度衛星画像解析システムの運用	298	249	0	249	▲ 50	(▲ 16.6%)	衛星画像供給業者より購入した衛星画像を解析し、警察活動に活用
	通信衛星使用料	472	475	0	475	4	(0.8%)	衛星情報接続サービスを利用して現場映像等を警察活動に活用
	政府間端末等の運用	48	40	0	40	▲ 8	(▲ 16.8%)	情報収集衛星の利用その他の手段により得られる画像分析を行うための機器・設備の保守
総務省		2,166	2,114	300	2,414	248	(11.5%)	
	準天頂衛星時刻管理系設備の運用	79	75	0	75	▲ 4	(▲ 5.0%)	研究開発を進めてきた準天頂衛星初号機「みちびき」の時刻管理系の実証運用
	宇宙通信システム技術に関する研究開発	2,062	2,015	0	2,015	▲ 48	(▲ 2.3%)	独立行政法人情報通信研究機構(NICT)の宇宙通信分野の基礎的研究開発
	海洋資源調査のための次世代衛星通信技術に関する研究開発	0	0	300	300	300		海洋資源の調査を効率化するため、通信衛星を活用して洋上のブロードバンド環境(10Mbps級)を構築するための次世代通信衛星技術の研究開発を実施する
	全国瞬時警報システム(J-ALERT)の衛星回線利用料	7	7	0	7	0	(0.0%)	全国瞬時警報システムの情報伝達において衛星回線を利用する
	地域衛星通信ネットワークの利用	17	17	0	17	0	(0.0%)	災害時に国と地方公共団体及び地方公共団体間を結ぶ通信ネットワーク
外務省		189	176	0	176	▲ 12	(▲ 6.6%)	
	衛星画像判読分析支援	173	161	0	161	▲ 12	(▲ 7.2%)	衛星画像情報を活用するための設備・機材の調達・保守、及び関連データ収集・調達研究等
	宇宙外交推進費	15	15	0	15	0	(0.6%)	「宇宙外交」を推進するための会議費及び旅費

(単位:百万円)

府省名	施策名	25年度 当初予算 (①)	平成26年度		対前年度		施策の説明	備考
			要求額 (②)	優先課題推進枠 (③)	概算要求総額 (④=②+③)	増▲減額 (⑤=④-①)		
文部科学省		164,285	132,299	56,729	189,028	24,743	(15.1%)	
JAXA	運営費交付金(自己収入額控除後)	109,769	90,054	42,601	132,655	22,886	(20.8%)	
	1. 基幹システム関連経費	24,839	18,681	11,623	30,304	5,465	(22.0%)	
	イプシロンロケット	8,200	0	900	900	▲ 7,300	(▲ 89.0%)	イプシロンロケットの開発と打上げ関連設備の整備
	新型基幹ロケット	0	1,000	6,000	7,000	7,000	-	新型基幹ロケットの開発と打上げ関連設備の整備
	宇宙ステーション補給システムへの回収機能の付加(HTV-R)	50	50	0	50	0	(0.0%)	HTVに回収機能を付加し、有人宇宙活動につながる基礎技術実証
	基幹ロケット高度化	617	173	4,523	4,696	4,079	(661.4%)	H-II Aロケット能力向上
	基幹ロケット相乗り機会拡大対応改修	0	0	200	200	200	-	
	基幹システムの維持 等	15,972	17,459	0	17,459	1,487	(9.3%)	輸送系技術基盤開発、打上げ射場設備等の維持運用、地上局の維持運用、ロケット製作用関連設備等の維持運用、追跡ネットワーク維持、環境試験設備維持等
	2. 宇宙環境利用関連経費	4,147	0	3,807	3,807	▲ 340	(▲ 8.2%)	日本実験棟「きぼう」を利用した宇宙実験の実施や宇宙医学研究等の推進、宇宙環境利用研究の推進、第2期利用に向けた実験装置開発・実験準備 等
	3. 衛星利用推進関連経費	6,242	6,781	1,190	7,971	1,729	(27.7%)	
	次世代情報通信衛星	50	50	0	50	0	(0.0%)	総務省と協力事業
	データ中継衛星「こだま」の継続確保	50	0	0	0	▲ 50	(▲ 100.0%)	後継のデータ中継衛星システム構築
	軌道上衛星の運用(利用衛星、交付金分) (DRTS、ETS-8、WINDS)	1,336	1,334	0	1,334	▲ 1	(▲ 0.1%)	通信衛星の運用
	準天頂衛星の運用	850	850	0	850	0	(0.0%)	準天頂衛星初号機「みちびき」の運用
	利用推進関連設備の維持 等	3,897	4,416	0	4,416	519	(13.3%)	地球観測データ総合管理・提供システムの運用・更新及び地球観測データ通信局(鳩山)の維持・運営、地球観測データ利用促進関連経費 等
	超低高度衛星技術試験機(SLATS)	0	0	1,090	1,090	1,090	-	SLATS衛星システムの開発
	赤外センサの研究開発	0	50	100	150	150	-	「安全保障・防災」に資する、衛星に搭載する赤外線検出器の研究
	災害観測・監視システムの整備 等	109	80	0	80	▲ 28	(▲ 26.1%)	

(単位:百万円)

府省名	施策名	25年度 当初予算 (1)	平成26年度		対前年度		施策の説明	備考
			要求額 (2)	優先課題推進枠 (3)	概算要求総額 (4)=(2)+(3)	増▲減額 (5)=4-1		
	4. 技術研究関連経費	10,660	9,865	1,300	11,165	505	(4.7%)	
	宇宙太陽光発電技術の研究	300	0	500	500	200	(66.7%)	宇宙太陽光発電システム(SSPS)の実用化に向けた見通しをつける為の地上技術実証
	スペースデブリ対策技術の研究	350	373	0	373	23	(6.6%)	スペースデブリ対策技術の研究
	デブリ除去システム技術実証	0	0	800	800	800	-	
	将来研究(先行・萌芽、将来輸送系、共通基盤技術)	1,559	1,529	0	1,529	▲ 30	(▲ 1.9%)	共通基盤技術等の研究開発
	基礎・基盤施設維持運営費	4,788	4,724	0	4,724	▲ 64	(▲ 1.3%)	三鷹・調布地区、筑波地区、角田地区
	情報システム関連	3,663	3,239	0	3,239	▲ 424	(▲ 11.6%)	スパコン等の維持
	5. 航空関連経費	3,315	3,414	0	3,414	99	(3.0%)	
	6. 宇宙科学関連経費	14,246	13,055	11,359	24,414	10,168	(71.4%)	
	水星探査機Bepi Colombo	644	541	0	541	▲ 103	(▲ 16.1%)	水星の内部・表層・大気・磁気圏にわたる総合的観測
	小型科学衛星シリーズ	2,601	4,834	1,824	6,657	4,057	(156.0%)	低コスト・短納期かつ科学ミッションの多様性に対応可能な小型衛星を開発
	第26号科学衛星(ASTRO-H)	3,670	0	9,535	9,535	5,865	(159.8%)	X線天文衛星「ASTRO-H」の開発
	軌道上衛星の運用(科学衛星)	1,651	1,786	0	1,786	135	(8.2%)	科学衛星や探査機等の運用
	学術研究・実験 等	3,565	3,644	0	3,644	79	(2.2%)	
	宇宙科学施設維持	2,115	2,251	0	2,251	136	(6.4%)	研究観測設備維持、相模原キャンパス施設維持、科学衛星データ利用経費 等
	7. 月・惑星探査関連経費	10,784	598	12,564	13,162	2,379	(22.1%)	
	小惑星探査機「はやぶさ2」の開発	10,259	0	12,564	12,564	2,305	(22.5%)	
	月・探査ミッション研究・推進	524	598	0	598	74	(14.2%)	
	8. 信頼性向上プログラム	6,368	7,391	0	7,391	1,023	(16.1%)	ロケット・衛星に係る総合的技術力を継続的に発展・維持向上させるための取組
	9. 産業振興基盤の強化	1,974	1,180	758	1,938	▲ 36	(▲ 1.8%)	
	10. 国際協力の推進	646	680	0	680	34	(5.3%)	
	11. 事業推進関連経費	7,033	7,398	0	7,398	365	(5.2%)	
	12. 人件費・間接経費等	19,514	21,008	0	21,008	1,494	(7.7%)	自己収入を含む

(単位:百万円)

府省名	施策名	25年度 当初予算 (①)	平成26年度		対前年度		施策の説明	備考
			要求額 (②)	優先課題推進枠 (③)	概算要求総額 (④=②+③)	増▲減額 (⑤=④-①)		
JAXA 補助金		52,707	40,615	13,777	54,391	1,685	(3.2%)	
	1. 宇宙ステーション運用等	33,863	33,172	0	33,172	▲ 691	(▲ 2.0%)	
	日本実験棟(JEM)運用等	9,479	9,175	0	9,175	▲ 304	(▲ 3.2%)	日本実験棟「きぼう」(JEM)の運用を推進
	宇宙ステーション補給機「こうとり」(HTV)	24,384	23,997	0	23,997	▲ 387	(▲ 1.6%)	宇宙ステーション補給機(HTV)を年間1機打ち上げる
	2. 施設整備費	2,174	3,117	323	3,439	1,265	(58.2%)	筑波宇宙センター用地取得、セキュリティの強化、勝浦追跡管制局改修、種子島大崎発電所建設、筑波宇宙センター施設老朽化更新(受変電設備、空調等)等
	3. 全球地球観測システム構築の推進	16,669	4,326	13,454	17,780	1,111	(6.7%)	
	温室効果ガス観測技術衛星後継機(GOSAT-2)	194	140	1,827	1,967	1,773	(912.8%)	
	気候変動観測衛星「GCOM-C」	2,343	1,202	5,558	6,760	4,417	(188.5%)	多波長光学放射計(SGLI)により、雲・エアロゾル、海色、植生、積雪分布等の連続観測
	全球降水観測/二周波降水レーダ(GPM/DPR)	5,800	0	727	727	▲ 5,073	(▲ 87.5%)	熱帯降雨観測衛星(TRMM)後継機開発
	雲エアロゾル放射ミッション/雲プロファイリングレーダ(EarthCARE/CPR)	1,282	0	745	745	▲ 538	(▲ 41.9%)	気象予報、気候変動予測の精度向上のためのCPR(雲プロファイリングレーダ)と地上システムの開発
	陸域観測技術衛星2号(ALOS-2)の衛星開発	4,364	371	2,704	3,075	▲ 1,289	(▲ 29.5%)	ALOS-2衛星システムの開発、関連地上設備の整備
	広域・高分解能観測技術衛星の開発	0	0	1,893	1,893	1,893	-	広域・高分解能観測技術衛星システムの開発、関連地上設備の整備
	軌道上衛星の運用(利用衛星、補助金分)(GOSAT、GCOM-W、ALOS)	2,685	2,613	0	2,613	▲ 71	(▲ 2.7%)	地球観測衛星の運用
文部科学省 内局		1,809	1,631	351	1,982	173	(9.5%)	
	1. 宇宙・航空科学技術推進の調整に必要な経費	428	406	200	606	179	(41.7%)	人工衛星利用上の各種研究開発の委託費用
	宇宙航空科学技術推進委託費 等	428	396	200	596	168	(39.2%)	
	宇宙状況監視に必要な経費	0	11	0	11	11	-	新たなSSAシステム構築の具体化に向けた調査を内閣府、防衛省と共同で実施
	2. 宇宙・航空分野の戦略的研究開発・国際展開の推進等	91	103	0	103	11	(12.4%)	
	3. 気候変動適応戦略イニシアチブ	968	828	151	979	11	(1.2%)	地球観測・予測データ等の多種多様なデータを統合・解析する共通プラットフォームを整備するとともにそこから創出される成果を気候変動適応策等に利活用するための研究開発を推進する
	4. 最先端超小型衛星の研究開発	285	256	0	256	▲ 28	(▲ 10.0%)	大学、中小企業と宇宙新興国の協力で最大4機の超小型衛星の開発
	5. 全球地球観測システム構築推進事務	38	38	0	38	0	(0.0%)	

(単位:百万円)

府省名	施策名	25年度 当初予算 (1)	平成26年度		対前年度		施策の説明	備考
			要求額 (2)	優先課題推進枠 (3)	概算要求総額 (4=2+3)	増▲減額 (5=4-1)		
農林水産省		162	156	0	156	▲ 7	(▲ 4.0%)	
	農林水産施策におけるリモートセンシング技術の活用	26	26	0	26	0	(0.0%)	
	被災地域の農作物等復興状況の把握	26	26	0	26	0	-	東日本大震災被災地域における農作物の作付状況の把握
	農林水産施策における衛星測位技術の活用	137	130	0	130	▲ 7	(▲ 4.8%)	
	操業管理適正化	65	59	0	59	▲ 7	-	漁船の位置等を衛星船位測定送信機を介して自動的に取得するシステム(VMS)を構築、運用
	VMSシステムの運用	71	71	0	71	0	-	効果的な取締体制構築のため、違反操業を識別するVMSの保守・運用費等
経済産業省		3,089	3,242	3,320	6,562	3,473	(112.4%)	
	超高分解能合成開口レーダの小型化技術(ASNARO2)の研究開発	0	0	3,320	3,320	3320	-	低価格・高性能の小型レーダ衛星の研究開発
	空中発射システムの研究開発	125	125	0	125	0	(0.0%)	空中発射システムの構築、基盤技術の開発、法規制等に係る調査
	宇宙産業技術情報基盤整備研究開発(SERVISプロジェクト)	127	180	0	180	53	(41.8%)	民生部品・民生技術の宇宙転用
	石油資源遠隔探知技術の研究開発	740	621	0	621	▲ 119	(▲ 16.1%)	地球観測センサASTER、PALSERを用いて石油資源遠隔探知技術の確立、向上
	極軌道プラットフォーム搭載用資源探査観測システム/次世代合成開口レーダ等の研究開発	68	68	0	68	0	(0.0%)	地球観測センサASTER、PALSERの校正
	ハイパースペクトルセンサ等の研究開発	1,530	1,602	0	1,602	72	(4.7%)	ハイパースペクトル及びマルチスペクトルセンサの開発
	次世代地球観測衛星利用基盤技術の研究開発	449	396	0	396	▲ 53	(▲ 11.8%)	ハイパースペクトルセンサからのデータの解析技術の確立
	太陽光発電無線送電高効率化の研究開発	0	250	0	250	250	-	宇宙太陽光システムの無線送電技術の確立
	準天頂衛星システム利用実証事業	50	0	0	0	▲ 50	(▲ 100.0%)	準天頂衛星システムを活用したビジネス化を目指す事業者支援(補助金)

(単位:百万円)

府省名	施策名	25年度 当初予算 (①)	平成26年度		対前年度		施策の説明	備考
			要求額 (②)	優先課題推進枠 (③)	概算要求総額 (④=②+③)	増▲減額 (⑤=④-①)		
国土交通省		9,399	9,210	232	9,442	44	(0.5%)	
	人工衛星の測量分野への利活用(測位分野)	825	823	0	823	▲ 3	(▲ 0.3%)	電子基準点のマルチGNSS化・中央局の機器整備
	人工衛星の測量分野への利活用(リモートセンシング分野)	91	86	0	86	▲ 5	(▲ 5.5%)	地球地図データの整備
	マルチGNSSによる高精度測位技術の開発	120	114	0	114	▲ 6	(▲ 5.0%)	マルチGNSSを統合的に利用して測量等を行う技術の開発及び標準化
	静止気象衛星業務等	8,329	8,159	232	8,391	62	(0.7%)	ひまわり6号・7号の運営、ひまわり8号・9号の整備
	交通分野における高度な制御・管理システムの技術開発	33	29	0	29	▲ 5	(▲ 14.0%)	鉄道・自動車等の輸送モード間で応用・共通化を図るための技術的検討
環境省		2,342	920	3,988	4,908	2,566	(109.6%)	
	いぶき観測体制強化及びいぶき後継機開発体制整備等	1,424	109	3,643	3,752	2,328	(163.5%)	「いぶき」(GOSAT)シリーズ化
	いぶき(GOSAT)観測体制強化及びいぶき後継機開発体制整備	1,315	0	1,503	1,503	188	(14.3%)	いぶき後継機開発及び並行して実施している地上の観測体制強化等
	温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」による地球環境観測事業	109	109	0	109	0	(0.3%)	「いぶき」現行機による地球環境観測事業(観測データの品質管理を目的とした検証等を実施)
	二国間クレジット制度(JCM)推進のためのMRV等関連する技術高度化事業	0	0	2,139	2,139	2,139	-	
	衛星による地球環境観測経費	774	654	345	999	226	(29.2%)	GOSATのデータ研究・解析費用
	アジア地域渡り鳥等国際共同研究推進	8	8	0	8	0	(1.0%)	アホウドリに発信器を装着し、人工衛星を用いたアルゴスシステムにより、巣立ち後の行動圏の比較・解明等を行う。
	渡り鳥の飛来経路の解明事業	18	18	0	18	0	(0.4%)	渡り鳥の飛来経路を衛星追跡により解明する。
	希少野生動物野生順化特別事業	80	97	0	97	17	(21.8%)	GPSアルゴスシステムにより放鳥個体の確実なモニタリングを実施
	海洋環境モニタリング多様化推進事業	14	8	0	8	▲ 6	(▲ 44.0%)	油流出事故が発生した際の衛星を利用したモニタリングの実施
	北西太平洋地域海行動計画推進費	25	26	0	26	1	(4.3%)	人工衛星を利用した海洋環境モニタリングシステム「環日本海海洋環境ウォッチシステム」の整備・維持運営・改善

(単位:百万円)

府省名	施策名	25年度 当初予算 (①)	平成26年度		対前年度		施策の説明	備考
			要求額 (②)	優先課題推進枠 (③)	概算要求総額 (④=②+③)	増▲減額 (⑤=④-①)		
防衛省		67,651	64,607	440	65,047	▲ 2,605	(▲ 3.8%)	
	衛星通信、商用画像衛星の利用等	30,212	27,065	440	27,505	▲ 2,708	(▲ 9.0%)	
	×バンド衛星通信中継機能等の整備・運営事業を含む衛星通信の利用	21,878	19,681	440	20,120	▲ 1,758	(▲ 8.0%)	通信衛星利用料等
	商用画像衛星の利用	8,325	7,375	0	7,375	▲ 950	(▲ 11.4%)	商用画像衛星利用料
	気象衛星情報の利用	9	9	0	9	▲ 0	(▲ 0.3%)	
	宇宙を利用したC4ISRの機能強化のための調査・研究	1,120	384	0	384	▲ 736	(▲ 65.7%)	今後の宇宙関連事業に資する調査研究等
	弾道ミサイル防衛(BMD)(宇宙関連)	36,317	37,149	0	37,149	832	(2.3%)	弾道ミサイル攻撃への対応事業の宇宙関連事業分
	米空軍宇宙基礎課程	2	9	0	9	7	(425.4%)	課程への派遣